

関東大震災の記録映像から学ぶ

～ その時 私たちにできること ～

2015年 4月26日(日) 14:00～16:30

(開場13:30)

会場：谷中防災コミュニティセンター 1F会議室

...もし大地震が来たら、谷中周辺はどうなるのか?...

1923年(大正12年)9月1日、相模湾沖を震源としたマグニチュード7.9の地震が発生。10万5千人余の死者と全壊家屋11万余棟、全焼家屋21万余棟という日本災害史上最大級の被害をあたえた。

この時の日本の人口は5600万人。現在の約半分にすぎない。

今後30年以内に70%の確率で起きるといわれている大地震。

その時どう対応すればいいのか。日ごろの心がけ、今後の地域防災計画、生死を分ける防災の知識などについて、関東大震災の記録映像を見ながら専門家の話を聞き、都市防災の知識や体験を共有します。

第16回 市民力向上講座

第3期テーマ：地域防災を考える

第1部 14:00-15:00

関東大震災の記録映像の上映と解説

講師 川西崇行氏(早稲田大学講師)

第2部 15:00-15:30

木密地域の防災と街並の保全

講師

吉川仁氏(防災&都市づくり計画室代表)

第3部 15:30-16:30

フリートーキング

資料代 500円

参加申し込み

お問い合わせ先

miwako.sakai@gmail.com

(酒井)

090-9492-0075

(西川)

主催 まちまちnet

協力

台東区まちづくり協力員会

市街地寺院研究会

